

**豊かな心の育成推進プラン**

重点取組分野	具体的取組
道徳教育	①すべての教育活動を通して道徳教育の充実に向け、生徒一人ひとりの個性を認め合う学校づくりを行う。 ②各教科、特別活動、総合的な学習の時間と関連を図った道徳科の授業実践を行う。
担当	道徳教育担当

**学校教育目標**  
 「平戸に学び 自ら学び 生きる喜びを実感できる学校」  
 ○ 自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力を身につけ、自らの可能性を拓く「力」を育てます。(知)  
 ○ 豊かな体験を通して感動する心を大切にするとともに、互いの違いを認め合い、おもいやりのある「心」を育てます。(徳)  
 ○ 健康で安全な生活を心がけ、運動に親しみ、たくましい心と体づくりに努め、自他の生命を大切に「心」を育てます。(体)  
 ○ 地域に学び、地域に生きる一員として、社会に貢献しようとする「心」を育てます。(公)  
 ○ 日本の伝統文化の理解を深め、異文化を尊重する態度や心を身につけ、国際社会で活躍するための「コミュニケーション力」を育てます。(開)

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	
〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉 〈言語活用・コミュニケーション力〉 〈問題発見・課題解決能力〉	具体化した資質・能力 ○ 自己理解 ○ 言語能力 ○ 問題発見・解決能力 ○ コミュニケーション力

**中期取組目標**  
 ○ 生徒一人ひとりを大切に学びを推進します。  
 ・教育活動を通して言語活動の充実に向け、思考力・判断力・表現力を育みます。  
 ・各教科や総合的な学習の時間の系統的充実を図り、持続可能な社会の創造に貢献できる人材を育てます。  
 ○ 誰もが安心して学校生活を送ることができる教育活動を実施します。  
 ・よりよい人間関係を築こうとする態度を育て、いじめを許さない豊かな心を育みます。  
 ○ 教職員一人ひとりが学校経営に主体的に参画し、チーム力を生かし組織力を構築し「信頼される」学校づくりを推進します。  
 ○ 小中一貫教育、保護者と地域、関係機関との連携などを意識して地域社会に「開かれた」学校づくりを推進します。

**学力向上アクションプラン**

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①育成を目指す3つの資質・能力を意識した指導内容や指導方法を検討し、生徒が主体的に学習に取り組む授業実践を行う。 ②各教科で単元ごとの評価を行い、生徒にとって「わかる授業」「考える授業」を実践する。
担当	学習指導

**学力向上に関わる本校の状況**

(1) 学力に関わる生徒の実態

(2) これまでの学校の取組状況  
 ○「わかる授業」「考える授業」の実践  
 ○授業を見合う週間の設定  
 ○平戸の時間の充実  
 ○長期休業中の学習会の設定  
 ○年間指導計画、評価計画及び内容の見直し

**今年度の目標**  
 生徒が仲間と共同しながら学びを深める授業づくりを行うとともに、個に応じた指導を充実し、主体的に学習に取り組む態度を育成していく。

**目標を実現するための具体的行動プラン**

上半期  
 「考える授業の実践」をもとに、「授業を見合う週間」や「平戸の時間」の充実、夏季学習会、授業アンケートの実施、年間指導計画や評価項目などの見直し等を継続して実施し、生徒が主体的に学習に取り組む授業の展開を目指す。「国語」：語彙を増やし、他者の考えをもとに自分の考えを深め、それを表現する力を培う。「社会」：単元の振り返りシートなどを用いて課題の追究に努め、互いの考えを共有し、自らの意見を再構築していく力を身につけさせたい。社会との関わりの中で課題を追究し、解決する活動の充実をはかる。「数学」：生活の中に数学が活用されている場面を見出し、数学の良さや楽しさを実感することで、粘り強く物事に取り組むことの大切さを身につけさせる。「理科」：実験・観察を経験することで、自然の事柄、現象についての理解を深め、幅広く物事を考える力をつけていく。「音楽」：音楽の良さを味わい、感性を高めることのできる学習を展開する。「美術」：作品制作や鑑賞活動を通じて、自分なりのもの見方、考える力をつける。「保健体育」：他者との活動を通して、互いに高め合い、自分自身の力を伸ばしていく。「技術家庭」：生活の自立と技術について基礎的な理解を図る。製作・実習を通して学んだことを生活に生かすことができるように促す。「外国語(英語)」：様々な文章や資料を聞き、読む活動を通して言語活動を理解する力を伸ばし、考えや気持ちを伝える活動につなげる。

下半期

**健やかな体の育成プラン**

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①市体力・運動能力調査および市学力・学習状況調査結果を分析し、生活習慣の改善に向け、生徒自身が主体的に課題解決を図る学習活動の場を設定する。 ②ブロック内の小学校と協働した「食育」「健康教育」を推進する。
担当	保健安全指導

**健やかな体に関わる本校の状況**

(1) 健やかな体に関わる生徒の実態

(2) これまでの学校の取組状況  
 ○体力・運動能力調査や市学力・学習状況調査の結果に基づく授業改善  
 ○体育や部活動における安全指導の徹底  
 ○小学校と協働した「食育」推進による、生活習慣の見直しやケガの未然防止の取組  
 (小学校栄養教諭による出前授業、児童生徒の意識調査、学校保健委員会を活用した食育教室の実施)

**今年度の目標**  
 「食」を核とした生活習慣の見直しとけがの未然防止

**目標を実現するための具体的行動プラン**

上半期  
 <生活習慣の改善に向けた具体的行動プラン>  
 ○生活習慣、食習慣改善に向けた「生活アンケート」(小学校高学年及び中学校)を実施する。  
 ○アンケート結果の集計及び分析を行い、「保健体育科」「家庭科」の指導内容を工夫・改善し、「健康と食のつながり」の重要性を認識させる指導を重点的に行う。  
 ○学校保健委員会と連携し、生徒の「骨密度」を測定し、「骨と食」との関係性を学ぶ機会を、学校、家庭、地域と協働して行う。  
 <体育や部活動における安全指導の向上を目指す具体的行動プラン>  
 ○安全指導研修会を実施する。(全教職員対象)  
 ・感染症予防  
 ・けがの未然防止に向けた具体的な指導(活動前・活動中・活動後)  
 ・個々の生徒との実態把握(事前アンケートの実施、個人面談の実施等)  
 ○活動場所の環境整備を行う。  
 ・グラウンド、体育館、格技場、プール等の定期的安全確認の徹底  
 ・使用する道具の安全性の確認、移動時等の安全指導の徹底

下半期